

令和5年（2023）3月2日～3月6日

令和4年度（2022）

第6回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

令和4年度（2022）第6回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

3月2日（木） 10:00 開会			3月3日（金） 10:00 開会			3月6日（月） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	川上 幸博	3	1	今岡 久人	11	1	鐘推 義憲	18
2	福島 孝雄	4	2	後藤 由美	12	2	木佐 宏	19 ～ 20
3	福田 実	5	3	大谷 良治	13	3	寺本 淳一	21
4	大場 利信	6	4	西村 亮	14	4	湯浅 啓史	22
5	今岡 真治	7	5	高橋 扶治夫	15			
6	石橋 広信	8 ～ 9	6	長廻 利行	16			
7	保科 孝充	10	7	板倉 一郎	17			

質問者	28 川上幸博
質問事項・質問内容	
(1) 国の「みどりの食料システム戦略」政策と出雲市総合振興計画「出雲新話2030」の整合性について伺う	
<ul style="list-style-type: none"> ① みどり戦略に合わせた出雲市総合振興計画に基づいた環境にやさしい農業を今後どのように位置づけるのか。また、有機農業に向けた重点的予算配分と今後の継続性を伺う。 ② 出雲市の有機農業の課題と対策 ③ 出雲農業未来の懸け橋事業に、有機農業やスマート農業など取り組みへの支援策について ④ 総合振興計画に、農林水産業の魅力アップでやりたい職業へとあるが、具体的に新規就農者をどの作目に導かれ未来につなげていかれるのか。 ⑤ 出雲は、平地から中山間まで幅広い農業経営が展開されている。持続可能な農業振興を紋切り型の振興策ではなく、地域に応じた振興策を形成する必要があるがどのように農業振興をされるのか伺う。 	
(2) トキが出雲の空を舞う地域づくりと農業振興策について伺う	
<ul style="list-style-type: none"> ① トキの保護と野生復帰へ向けた出雲周辺市町との連携と体制の振興策は ② 生育環境調査に基づいたトキの営巣地の整備などの生息環境の整備方針は ③ トキに限らず野鳥被害への対応策は(宍道湖周辺や河川周辺) ④ トキの野生復帰に向け農家の声を聴取し、その対応策と説明会の有無 ⑤ 特別栽培米に取り組む農家への助成措置への対応(特別栽培米での価格の向上と販売経路について) 	

質問者	20 福島孝雄
質問事項・質問内容	
(1) 農業の経営安定対策及び物価高騰対策について	
<p>① 水田活用直接支払交付金について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 交付要件 イ 各地域別の対象面積 ウ 見直しの目的 エ 見直しにより対象から外れる見込みの面積 <p>② 畑作物の直接支払交付金について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 数量払いの交付単価が免税事業者と課税事業者と違う理由 <p>③ 畑作物本作化推進助成について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 畑地化促進事業の目的 イ 畑地化支援・定着促進支援の内容と要件 ウ 申請・交付のスケジュール エ 現在の要望件数と面積 オ 令和5年産以降の畑地化の取組 <p>④ 物価高騰対策について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 肥料価格高騰対策事業（春肥）のスケジュール イ 出雲市中小企業者等物価高騰対策特別給付金の全体の申請状況及び、農業事業者の申請状況 ウ 農業事業者への周知 	
(2) 効果的な有害鳥獣対策について	
<p>① イノシシ被害防止対策について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 出没の動向 イ 主な被害内容 ウ 被害対策の現状 エ 被害対策のデジタル化 	

質問者	3 福田 実
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市のスポーツ振興策について	
<p>① 「輝け 君の青春 刻め 努力の軌跡」をスローガンに令和7年(2025)全国高等学校総合体育大会(通称、インターハイ)が中国5県を中心に開催されます。令和12年(2030)には、「自分を超えろ、神話をつくれ」をスローガンに第84回国民スポーツ大会、第29回全国障害者スポーツ大会が開催されます。</p> <p>ア 今後の出雲市のスポーツ振興について</p> <p>a 現在のスポーツ少年団の状況、今後の市のバックアップについて伺います。</p> <p>b 中学校の部活動の指導者地域移行は、有能な指導者に習うことによって子どもたちの競技力向上につながるチャンスだと思います。今後の市の考え、支援策を伺います。</p> <p>c 令和12年(2030)国スポ、全スポに向けて様々な年代での競技力向上が必要だと考えますが市の所見を伺います。</p> <p>d 令和3年8月に民間企業とスポーツ振興に係る連携協定を締結されていますが、市では今までどんな取組をしてこられたか。今後どのような取組を考えているのか伺います。</p> <p>e スポーツ推進委員の現在の状況と、今後、期待されることを伺います。</p> <p>f スポーツツーリズムとは。具体的な今後の施策を伺います。</p> <p>イ 高齢者、障がいのある方の健康維持、それにともなうスポーツの普及について市の今後の支援策など具体的に伺います。</p> <p>ウ 島根県立浜山公園野球場の更なる活用方法について</p> <p>a 今後、更なる改修が必要と考えるが市から県への働きかけなど所見を伺います。</p> <p>b プロ野球の浜山公園野球場開催を考へませんか。</p> <p>エ 出雲市から、もう一度オリンピック選手を輩出できるくらいの競技力向上、選手育成の強烈的な支援策が必要と考えるが市の所見を伺います。</p>	

質問者	22 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市内における雇用人材の確保について	
<p>① 市内の事業主や経営者から人材の確保の相談をよく受けます。人材がいいため事業を縮小することも考えなければならないとの声もあります。特に、製造業、建設業、介護分野、ホテル等のサービス業で不足し、それを補うため定住外国人を求める動きがあります。これについて以下伺います。なお、ここで取り上げるのは定住外国人のことで、別の制度で動く技能実習生あるいは特定技能実習生を除きます。</p> <p>ア 最近の市内での有効求人倍率及び若い人材の就職状況</p> <p>イ ここ最近の外国人住民の市内企業への就職状況</p> <p>ウ 今年度の外国人住民対象の合同企業説明会への参加者数</p> <p>エ 市内企業の人材確保策として令和3年度から始まった定住外国人を対象とした県（高等技術校）の職業訓練の実施状況</p> <p>② 事業主や経営者から求められるのは日常会話程度の日本語が話せることです。市は今年度に新たに外国人住民を雇用している企業を対象にした日本語研修を始められますが、受講対象者は当該企業に雇用されている外国人だけでなく、市内の他企業に雇用されている外国人も対象とするようにすべきと考えますがこれについて伺います。</p> <p>③ 最後に、少子化の中で日本人の雇用人材が不足する中で、定住外国人の就職支援が市内の企業や事業者の事業の運営に好影響を与え、WIN-WINの関係が築けるようになると考えますが、今後の支援について伺います。</p>	
(2) “地域共生社会”の実現を目指して	
<p>① 国は、令和3年度から、地域における高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者などへの支援を、従来の縦割りでの対応から地域の関係者が連携しあえるような体制を整備し、複雑化・複合化した課題を抱える世帯等を支援する事業を打ち出しました。</p> <p>出雲市においては、令和3年9月議会でこれからこの事業を開始するための準備を行い、令和5年度から本格的に実施したい旨の答弁でした。これについて以下伺います。</p> <p>ア 社会情勢が刻々と変化する中で、地域福祉の分野においても様々な事例や課題が生じていますが、これらの課題等に対処するため、“地域共生社会”の実現が求められていると考えますが、このことについて伺います。</p> <p>イ これまでも困難ケースや制度のはざまにいる人への支援も含め様々な支援を行ってきておられると思いますが、具体的にどのような支援を行ってきておられるか伺います。</p> <p>ウ 支援を実施するには、地域の多彩な人材やグループの参画と協力や地域資源の活用が不可欠と考えます。市の支援体制について伺います。</p> <p>エ 令和3年9月議会で健康福祉部長は、引きこもりや8050問題の改善を図りたいとの答弁でしたが、最近ではヤングケアラー問題が出てきていますが、これらの各種課題への対策について伺います。</p>	

質問者	9 今 岡 真 治
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の学校教育について	
<p>① 「いずもG I G Aスクールプラン」に基づき、I C Tを効果的に活用した授業改善の推進や家庭学習の充実等に取り組まれているが、現状について伺います。</p> <p>ア 「いずもG I G Aスクールプラン」導入後の成果について</p> <p>イ タブレット型パソコンの活用状況の現状と課題について</p> <p>ウ デジタルドリルの活用状況の現状と課題について</p> <p>エ 今後さらにI C Tの活用を進めるための取り組みについて</p> <p>② 教員不足の報道がされる中、出雲市立小中学校の教員不足の状況について伺います。</p> <p>ア 来年度の見込みについて</p> <p>イ 市教育委員会としての対応について</p> <p>③ 小学校高学年で始まった「教科担任制」について伺います。</p> <p>ア 教科担任制のメリットとデメリットについて</p> <p>イ 本市における現状と課題について</p> <p>ウ 教科担任制導入に向けた考えについて</p>	
(2) 所有者不明土地と空き家対策について	
<p>① 所有者不明土地の問題を解消するため、令和3年4月に「民法等の一部を改正する法律」及び「相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律」が成立・公布されました。</p> <p>この2つの法律では、所有者不明土地の発生を予防したり、すでに発生している所有者不明土地を滞りなく利用したりするために、不動産に関するルールの見直しと制度の創設が行われました。そこで、所有者不明土地と空き家対策について伺います。</p> <p>ア 本市における所有者不明土地と空き家の現状と課題について</p> <p>イ 民法・不動産登記法の改正、相続土地国庫帰属法の概要について</p> <p>ウ 民法・不動産登記法の改正、相続土地国庫帰属法の周知について</p> <p>エ 所有者不明土地の解消に向けて、不動産に関するルールが大きく変わることを踏まえ、空き家・空き地の解消と適切な管理において、出雲市における活用について</p>	

質問者	5 石橋 広 信
質問事項・質問内容	
(1) 子ども・子育て支援策に関して	
<p>① 出雲市の子育てに関する状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 直近3期間の出生数（10年前、5年前、昨年度の全国と出雲市の比較） イ 就園児・未就園児（保育園や幼稚園に通っていない子ども）の状況（0歳～5歳） <p>② 出雲市の現在の子ども・子育て支援策の内容と課題</p> <p>③ 子ども家庭庁発足による今後の国から各自治体への子ども・子育て支援の内容（主なもの）と課題、また、他の自治体の先行事例がありましたら時期別にお聞かせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 結婚時 イ 妊娠期 ウ 出産期 エ 育児期 オ その他 <p>④ 現場からの声による子ども・子育て支援策への提案（伴走型相談支援）に対して、見解を伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 妊娠期相談サービス <ul style="list-style-type: none"> a 出産までの見通しを寄り添って立てる イ 出産産後相談サービス <ul style="list-style-type: none"> a 悩みを共有できる仲間づくりの場の紹介 b 産後ケア、育休給付、保育所入所の紹介 ウ 育児期相談サービス <ul style="list-style-type: none"> a SNS・アプリなどを活用したオンライン面談・相談 エ 家庭訪問による家事・育児支援 オ マイ保育園制度の実施 カ 不登校児への支援 キ 学生のための勉強できるスペースの確保 <p>⑤ 国からの子ども・子育て支援策に対して、今後、出雲市はどのように取り組んでいくのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 子ども・子育て支援に対する考え方（出雲市らしさ） イ 出雲市として「これは！」と思われる必須の取組み 	
(2) デジタル田園都市国家構想に関して	
<p>① 政府が決定したデジタル田園都市国家構想の総合戦略に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 日本が目指すデジタル化に向け今の現状は。 イ その総合戦略の内容と課題 	

- ② どのような恩恵が受けられるのでしょうか。
 - ア 個人
 - イ 団体（企業）
- ③ 他の地域で実績を上げている好事例の横展開について
 - ア 書かない窓口
 - イ 人と人を結ぶ仕組み構築
 - ウ デジタル推進委員の設置拡大
- ④ 出雲市が目指すデジタル田園都市国家構想の実現に向けて
 - ア 必要なもの
 - イ どのように取り組んでいくのか

質問事項・質問内容

(1) 時代に合わせた「都市計画マスタープラン」策定を

① 飯塚市長は施政方針の中で、令和5年・6年の2か年で、「都市計画マスタープラン」を策定すると述べられました。令和4年6月議会・私の一般質問「人口の均等化政策を強力に進めていただきたい」という質問に対して、伊藤副市長は都市計画マスタープランの中で「斐川地域の場合は、守るべき農地・良好な住環境を確保するという両面から検討する」とされました。松江市の上定市長は2月の記者会見で、市街化調整区域を分ける「線引き制度」は「時代の流れとともに、合わなくなった」と語っておられます。出雲でも地域的な人口のバランスを考えて、時代に合わせた「都市計画マスタープランの策定」の中で、良好な市街地の形成等、積極的に対応すべきと考え、次の点について伺います。

ア 「都市計画マスタープラン」今後の策定計画

- a 日程・・・策定期間2か年の計画日程
- b 都市計画審議会・・・委員の構成・選任方法（地域の実情をよく理解した委員を）
- c 協議内容・・・地域の自治協会等への協議を重視すべきと思う。
- d 人口均等化策について
 - i 特に人口減少地域について・・・計画的な良好な市街地の形成を促す用途の指定を（例 学校・商業集積地周辺地）
- e 都市計画道路の整備について
 - i 交通渋滞が進む富士通道路～直江停車場線までの早期整備
 - ii 都市計画路線の見直し・・・平成26年の釘が折れたような路線の見直し箇所の復活

(2) 出雲市指定文化財について

① 出雲市指定文化財は、令和2年9月1日現在で127件ありますが、歴史的に価値のある斐川町神庭の高瀬城址・東神西町の神西城址は指定されていません。この2つの城址は、地域の皆さんがボランティアで熱心に保存活動・啓発活動に取り組まれた結果、登山道もよく整備されて、近年の山城ブームも手伝って、訪れる歴史ファン・登山客も多く、史跡の指定と周辺整備の必要があると思っておりますがいかがか伺います。

ア 出雲市指定文化財の要件について

イ 高瀬城址・神西城址は要件に満たないのか。

ウ 令和2年6月、二つの城址を貴重な歴史遺産として発信して、地域活動につなげようと会員61人で「出雲斐川尼子十旗顕彰会」が発足し、現在は80人に増加している。高瀬城址では、令和3年5月には、頂上に立派な標柱が完成し、除幕式が開催された。このような活動を、どのように評価・支援しているか。

エ 高瀬城址の周辺対策について

- a 12月中旬に私が登山したとき、あちこちの路肩に不規則に5台の車が分散し駐車していた。周辺の状況を見ると、駐車場の整備は簡単にできると思うがどうか。
- b 樹木が大きくなり、360度の遠方視界を遮っている。会員の皆さんが伐採しているが限界があると思う。いかがか。

質問者	8 今 岡 久 人
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の公共交通対策の考え方は	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市駅を中心とした、方面別の路線数はいくつありますか。 ② 平田・佐田・多伎地区で運行されている、コミュニティバスなどの利用実態はいかがですか。 ③ 市内中心部にある病院や学校、また市役所など公共機関と郊外地区との連携が取れた運行ダイヤはできているのでしょうか。 ④ 出雲市として今後どのような運行形態や、バス路線はどのようにしたいのか、また今は路線別に決められている料金体系を、一本化するような考えはありませんか。 	
(2) 神西湖の環境改善の取り組み状況	
<ul style="list-style-type: none"> ① 直近のデータとして、神西湖は水質基準を達成していますか。 ② 神西湖の漁獲量はどのように変化していますか。 ③ 今後、神西湖の汚泥問題をはじめ、環境改善に向けてどのような取り組みをお考えですか。 	

質問者	11 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 学校給食費の無償化について	
<p>① コロナ禍と物価高騰の中、子育て世代への経済的支援を抜本的に引き上げることが求められています。内閣府が2020年度に行った「少子化社会に関する国際意識調査」によれば、育児支援の最重要政策はなにかとの質問に対し、日本では「教育費の支援、軽減」との回答が約70%と最高でした。また、「希望する人数まで子どもを増やさない・増やせない理由は」との問いへの答えの最多も、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」でした。安心して子どもを産み育てる社会の実現に向けて、教育費負担の抜本的軽減をすすめる必要があります。様々な経済的支援があるなか、今回は学校給食費の無償化について伺います。</p> <p>ア 学校給食が果たす役割について、認識を伺います。</p> <p>イ 現在、保護者が負担する学校給食費は年間いくらになりますか。小学生、中学生の年間負担額を伺います。また、無償化にするための市の予算額を伺います。</p> <p>ウ 学校給食は教育の一環であり、憲法26条（義務教育無償）の実現に向け、教科書と同じように無償にするのは政治の責任であり、国の責任と考えます。市全体で子どもの成長と保護者の暮らしを守るために、無償化を検討するよう求めます。所見を伺います。</p>	
(2) 酪農家の危機打開に向けた支援について	
<p>① ロシアのウクライナ侵略や円安等を原因とする飼料や資材の高騰によって、酪農をはじめ畜産経営は今、全国的に危機的状況が広がっています。このままでは離農がさらに拡大し、日本の牛乳が飲めなくなる恐れもあります。今年度、県そして市としても緊急支援事業が実施されましたが、危機的状況を打開するものにはなっていません。緊急で大胆な支援策が強く求められています。とりわけ深刻な酪農家の実態について伺います。</p> <p>ア 国に対し、飼料価格高騰分を全額補填すること、また、海外からの乳製品輸入の削減を要求するべきです。市の所見を伺います。</p> <p>イ 昨年9月、市として「飼料高騰緊急支援事業」を行われ、現場からは「大変助かった。これを一時ではなく、継続して支援を求めたい」との声が出ており、事業の継続を求めます。市の所見を伺います。</p> <p>ウ 市内の酪農家を守るためにも、酪農・畜産の窮状を広く伝え、牛乳・乳製品の消費拡大キャンペーンを展開するなど、市をあげた消費拡大策を求めます。所見を伺います。</p>	

質問者	16 大谷良治
質問事項・質問内容	
(1) 自治会の加入促進について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 自治会加入促進について <ul style="list-style-type: none"> ア 自治会の役割 <ul style="list-style-type: none"> a 町内会、自治会の必要性に対する認識 イ これまでの取組みについて <ul style="list-style-type: none"> a 加入促進の取組みの現状 b 成果と課題、今後の取組み ウ 自治会加入の負担感について <ul style="list-style-type: none"> a 実情と支援策について 	
(2) 認知症ケアの推進について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 認知症に対する理解の普及および支援に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ア 実施状況と課題（認知症サポーターの養成）等 ② 認知症予防対策について <ul style="list-style-type: none"> ア 「通いの場」等における認知症予防に資する取組み ③ デジタルを活用した介護予防 <ul style="list-style-type: none"> ア 現状の取組みの成果と課題 ④ 見守りネットワーク／SOS体制等 	

質問者	21 西村 亮
質問事項・質問内容	
(1) いきいきこどもプランについて	
<ul style="list-style-type: none"> ① 子ども・子育て支援事業計画 ② 子育てに喜びを実感できる社会の実現 ③ 子育て家庭を支援する環境づくり ④ 結婚、妊娠、出産等一連の支援対策 ⑤ 子どもの貧困対策の推進 ⑥ 子どもの貧困、ヤングケアラー等早期発見の秘策 ⑦ ひとり親家庭への経済的支援 ⑧ 教育費負担の軽減と今後の無償化に向けた取組み ⑨ 出生数の増加に向けた対策 	
(2) 物価高騰による市内事業者への影響について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 市民、事業者等の影響 ② 各分野別事業所の影響 ③ これまでの各事業所別の支援状況 ④ 国、県、市の内訳と所見 ⑤ 物価高騰に関する今後の対策 ⑥ 更なる予算配分が必要不可欠と考える 	

質問者	7 高橋 扶治 夫
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市の公用車の安全運転対策と適正なあり方について	
<p>① 出雲市の公用車の安全運転対策と公用車の適正なあり方について質問します。</p> <p>ア 公用車の保有台数について直近年と3年前・6年前の台数を伺います。また車両の主な配置状況として、30台以上保有する部局のそれぞれの台数を伺います。</p> <p>イ 公用車による交通事故件数とその内訳として人身・物損の件数を、直近年と3年前・6年前の件数で伺います。</p> <p>ウ 公用車の維持管理費の金額について、直近年と3年前・6年前の金額を伺います。</p> <p>エ 出雲市の安全運転管理者と副安全運転管理者の選任の現状と車両台帳、運転日誌、日常点検、給油伝票などの管理状況やその他車検やタイヤ交換の管理等、日頃の出雲市職員に対する安全運転対策の取組状況を伺います。</p> <p>オ 公用車は部署ごとに適正な台数が置かれているか、また適正な公用車車両が置かれているかをコスト削減の観点からどのようにチェックしているか所見を伺います。</p> <p>カ 現在の公用車のうち、リース車両の台数の割合と今後の公用車のリースに対する見解を伺います。</p> <p>キ 公用車の電気自動車は何台ありますか。また電気自動車による脱炭素化に向けた見解を伺います。</p> <p>ク 公用車の管理事務全体のデジタル化に向けた取組状況を伺います。</p>	

質問者	30 長 廻 利 行
質問事項・質問内容	
(1) 119番通報のライブ化について	
<p>① 消防本部では、スマートフォンのカメラ機能を利用して、通報者から送られてくるライブ映像による119番映像通報機能の導入が予算化されているが、以下について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 映像通報機能の仕組みについて イ 他本部での導入状況と運用状況について ウ 導入の効果や経費などについて エ 運用の時期について 	

質問者

27

板倉一郎

質問事項・質問内容

(1) 新型コロナウイルス感染症の5類への移行について

- ① 政府は、新型コロナの感染症法上の分類を現在の「2類相当」から、季節性インフルエンザと同じ「5類」に5月8日から変更することを決定しました。
国内において、新型コロナウイルス感染症が流行した以降の大きな変更であり、市民や事業者など様々な方から、日常生活や活動がどのように変わっていくのか多くの問い合わせなどをいただきます。そこで、次の点について伺います。
- ア 新型コロナの感染症法上の分類が「2類相当」から、「5類」に変更になった場合、感染した場合を含め、対応はどのように変わるのか伺う。
- イ 学校、幼稚園、保育園の対応は、どのように変わるのか伺う。
- a マスクの着用など学校での生活
- b 運動会や修学旅行、卒業式、入学式などの行事
- c 休校、休園などの基準
- ウ 市役所の対応は、どのように変わるのか伺う。
- a 市の窓口や、市民対応
- b 市が主催する行事
- c 市の施設（病院、文化施設、体育施設）
- エ 医療にかかわる個人負担は、どのように変わるのか伺う。
- a 感染した場合の医療費
- b ワクチン接種の費用
- オ 地域活動への支援について伺う。
- a 地域活動は、主に高齢者のみなさんが担っています。地区の祭りなどの必要性は理解しながら、多くの人が集まる活動の再開には慎重な方も多い。市は、地域活動を再開するための支援について、どのように考えているのか伺う。

質問事項・質問内容

(1) 「出雲市駅付近連続立体交差事業第二期区間の実施方針」について伺う

① 出雲市駅付近連続立体交差事業は、昭和63年4月に補助事業として採択され、平成3年にJR山陰本線及び一畑電鉄北松江線を高架化する事業としてスタートしました。なお、本事業は全体計画を第一期、第二期の2区間に分割して工事を実施されることとなり、平成13年に第一期区間の工事は完了しました。しかし、事業主体である島根県は、第二期区間についてはその工事を休止とされ、その後、第一期区間の工事完了後から20年が経過した現在においても休止状態が続いている状況にあります。そのため、大津地区の都市計画道路の整備は進まず、大津地区のまちづくりにも大きく影響しています。

そこで、今後の出雲市駅付近連続立体交差事業第二期区間の実施方針について、次のとおり伺います。

ア 出雲市駅付近連続立体交差事業について

a 当初計画の内容について

b 第一期区間、第二期区間に分かれた理由について

c 第一期区間と第二期区間、各区間の始点と終点、及び区間の延長について

イ 第一期区間は終了したが、第二期区間は休止状態である。これまでの経過、及び第二期区間が休止となっている原因について

ウ 第二期区間工事が約20年間休止状態となっている影響で、大津地区では都市計画道路の整備が遅々として進まず、そのため、まちづくりや交通安全の確保に支障をきたしている状況にある。その点に関してどのように認識されているのか。

a 大津地区の都市計画道路整備の進捗状況について

b 大津地区のまちづくりへの影響について

c 交通渋滞の状況及び事故の発生リスクについて

d 第二期区間の休止期間中に実施された踏切等の安全対策について

エ 令和4年1月に、大津自治協会・大津地区土木委員会・大津地区交通安全対策協議会・まちづくり委員会の4者連名により、出雲市長に対する要望書及び出雲市議会議長に対する請願書が提出されているが、その後の対応状況について

オ 第二期区間の工事実施の可否と、その決定までの手順と見通し、及び決定時期について

質問事項・質問内容

(1) 許せない飯塚市長『稲盛会長の格言引用・利他に生きる』は900人もの非正規雇用解消後に許される、会長の人格への冒涇と市民を愚弄した執務の姿勢を糾弾する

- ① 昨年から、私は会計年度任用職員を正規雇用へと、繰り返し希求してきたが、微塵の改善も伺えない。その後斯かる課題に貴職は如何に真摯に対峙してこられたか、時系列的詳細にお答えください。
- ② 昨今には、連合も政府も経団連の十倉会長も、同一労働同一賃金へ労使、関係企業が一体になって進むべき年だと、あらゆる機会を通じ発信されている。
市長貴方は、昨年は渋沢栄一氏の【格言】を引用、思いは同じだと発言された。私は貴方の言葉には実がないと揶揄した。今議会の所信表明では【稲盛会長の利他の精神】を引用し、世のため人のために市長として職務に専念するやの発言、飯塚市政施策の2年間を顧みても、長岡前市長同様、自らの政治理念、施策が全く伺えない。先人の重厚な格言をパクリ、口先だけで軽々しく誰ひとり取り残さないと公言されるが、会計年度任用職員採用枠拡大実施への施策も示さず、斯かる言動は決して許されない。緊急に会計年度任用職員をひとりでも多く、正規雇用へ登用すべく施策指針を全力傾注していただきたい。折角、出雲市へ縁があつてお勤めなされている皆様へ熱い思いを示されたい。強く要求する。
- ③ 本来ならば市職労組が同一労働同一賃金の処遇要求実現を掲げ、ストライキをも構えてでも一念発起すべき喫緊課題。組合費のみ徴収し、誰が彼らの救済への悩みに寄り添っておられるのか、同じ庁舎内に出勤していて何も感じられない。民間労組で要求貫徹へ昼夜、休みも厭わず、一致団結して悩みに寄り添って闘ってきた私は、信じがたい現状を憂えるばかりである。
- ④ 民間企業労働者は勤務先に労組・組織が無ければ、地域一般合同労組へ個人加入し、助けを求める術があろうに、出雲市の会計年度任用職員は公職の職域故に、労働権行使は民間労組以下。正に憂うべき実態、課題解決できる者は、飯塚俊之市長貴方だけですよ。
正規雇用勤務者以上の掛け替えのなき執務能力者や有資格者も埋もれている900人にも及ぶ職員を会計年度任用職員なる名称契約の下、月収16万円程度の処遇で働かせ、出雲市の財政健全化へ善進したなど、全く羞恥心のかけらも見受けられない。渋沢栄一・人材は宝の格言へも貴方はパクリ使用。国の働き方改革で、60歳定年を65歳まで延長制度になり、退職金を受け取った者を更に厚遇することは真に不条理な道。先ずは日々重責を果たし、勤務の非正規雇用の家族へも希望の光をもたらしてください。
- ⑤ 《国境なき医師団組織》を日本に来て創られた方が、日本を離れる際に後継者に託された言葉は《無関心は人を殺す》であったとか。戦争・原発・平和・環境汚染・労働権、万物の生命体が生息でき得る持続可能な地球を護れるのは、知恵と心を持つ人間のみ。同じ職場で働く同僚へ心くばりができないのは、利他の精神にあらず。利己・自己中心の生きざま、正規雇用職員の皆様、組合費を支払い選挙運動のみに奔走する前に、同僚900人もの難儀を看過せず、明日は我が身と心得、無関心人生からは脱却、直ちに隣人（同僚）の正規雇用実現へ、全力傾注声を挙げてください。ザ労働者、木佐宏は心からの願いであります。

- ⑥ 就職氷河期として語られる、35歳～55歳前後の非正規雇用の労働者は会計年度任用雇用契約制度の下で二重の弊害を強いられている。1年契約で毎年契約更新の面接などあるとか、子育て支援の名目や片親家族への気配りが取り上げられていても、会計年度任用制度契約労働者は、再任用への不安を日々抱いて勤務されている。
- 会計年度任用職員と子息は、大学進学や専門学校への進路、学費の借り入れや、親の収入不足による不公平・不公正・不平等の弊害を生涯負わなければならない。
- 飯塚市長、貴方は口を開けば、市民の誰ひとり取り残さない政治を公言されるが、そこで35歳、45歳、55歳の本市正規雇用職員と会計年度任用雇用職員との毎月の報酬の具体的比較をお示してください。
- ⑦ 現在、上述の35歳、45歳、55歳の60歳定年退職時には、正規職員と非正規職員との実収入の落差の実情実態を明確にお示してください。
- ⑧ 昨年、消防団員の不適切処遇の是正を要請し、不必要なる土木委員の厚遇との不平等、不公平と糾弾。ご家族の心労にも思いを馳せるべきと申しあげた際、飯塚市長は思いは同じだとその場しのぎの答弁をなされている。
- 平成の世直し人は、市長や公務員諸兄は自らの恵まれた境遇に浸り、他者や弱者の難儀に何ら感じず執務されているから、当方が強く指摘するまで他人事と知らない振りして日々過ごされている。
- 重ねて申しあげておきますが、国から60歳から65歳まで定年延長制度改革が示されても、非正規労働者・会計年度任用職員と正規雇用職員との不平等処遇の解消、解決に至るまでは、国からの斯かる制度に安易に移行するなど絶対に許されない事柄と申しあげて市長の所見をお聞かせください。

質問事項・質問内容

(1) 再生可能エネルギーの促進と課題について

① 飯塚市長は施政方針で「ゼロカーボンシティ出雲」の実現に向け、再生可能エネルギーの促進をはじめ、豊かな自然環境を次世代につなぐ施策を推進しますと表明されました。再生可能エネルギーは太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス発電等いろいろありますが、主力となるのはやはり太陽光発電です。住宅や民間企業、公共施設に導入を促進していくことは重要ですが、将来を考えたときに課題もあると感じています。2012年に固定価格買取制度が施行されて以降、太陽光発電が加速的に普及しました。この使用する太陽光パネルは寿命が20年～30年とされており、2036年辺りから太陽光パネルを含む廃棄物が大量に出ること（単純計算では全国で約80万トン）が予想されています。対応としてはリデュース、リサイクル、埋立て処分があると思いますが、コストがかかるため放置・不法投棄や最終処分場がひっ迫するのでは、と様々な懸念が広がってきています。その懸念を払拭し、再生可能エネルギーを促進するためにも現在の状況と今後の市の考えを伺います。

ア 現在、住宅と民間企業・公共施設での太陽光パネル設置数は。

イ 10kW以上の太陽光パネルは管理型最終処分場での処理とされているようですが、今ある最終処分場の2036年以降の状況は。

ウ 10kW未満の住宅用太陽光パネルは条件付きで一般廃棄物処分場でも可能とされているようですが、今ある処分場の2036年以降の状況は。

エ 循環型社会形成推進基本法では、処理やリサイクル等の優先順位が決められており、1位がリデュース（発生抑制）、2位がリユース（再利用）、3位がリサイクル（再生利用）、5位が埋立て処分となっています。特に、埋立て処分場の負担を減らすリユースは重要ですが、専門企業は県内にあるのか。また、廃棄する太陽光パネルの処分について、国や島根県の動向は。

オ 今後は市でも太陽光パネルの回収・処分を含めたリユース・リサイクル推進に向けた取り組みを検討していくべきと思うが考えを伺います。

質問者	18 湯 淺 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 総合振興計画の進捗をどのように把握・検証していくのか	
<p>① 出雲市総合振興計画「出雲新話2030」は2022年9月議会で可決承認され、これに基づく令和4年度から6年度の基本的な施策・事業を体系的に示す「前期基本計画」が12月議会最終日の全員協議会において報告された。</p> <p>ア 総合振興計画にはチャレンジ目標、そして前期基本計画にはそれぞれの項目に目標値が設定されたが、これらの目標に対する進捗管理をどのように行っていくのか。</p> <p>イ 掲げた目標は達成することが求められるが、社会情勢の変化への対応は必要であり、柔軟に対応して目標地点を変更することもまた必要である。これらの対応はどのように行っていくのか。</p> <p>ウ もし仮に次期総合振興計画である「(仮称) 出雲新話2040」の策定に携わるなら、どのような策定経過をたどるべきか。</p>	
(2) 出雲エネルギーセンターの稼働状況と「いずも縁結び電力」の電力供給状況を伺う	
<p>① 新設された「出雲エネルギーセンター」は2022年4月から本格的に稼働を開始した。また、出雲市も参加する電力供給事業者である「いずも縁結び電力(株)」は2021年7月に設立され、「出雲エネルギーセンター」などからの電力を市関連施設に供給している。</p> <p>ア 稼働後11ヶ月、「出雲エネルギーセンター」の稼働状況および発電状況は、建設計画時の目論見と比較してどのような状況か。</p> <p>イ 「いずも縁結び電力」へ電力を供給している発電施設はどのようなものか。</p> <p>ウ 「いずも縁結び電力」の配電は脱炭素社会実現にどのような役割を果たすのか。</p>	